

～心豊かにより楽しく生きがいを感じる人生を～



第9回 香南いきいき セミナー



9月20日(土)から10月8日(水)まで開催された「香南いきいきセミナー」。9回目を迎えた今年も、各分野における個性豊かな講師4人を迎え、笑いあり、気づきありの、すばらしい講座となりました。延べ約1,320人の受講者は、新たな発見、気づきを胸に刻み、気持ちを引き締めていました。
来年も多くの方に参加していただけるよう、魅力的なセミナーを開催する予定です。

あなたの考える火生支援策を募集します。



生活の中で子育てや仕事、健康、親、ご自身の老後のことなど、「こんな支援があればいいのに」「こんなことで困っているな」とおぼやめな課題があると思います。市は、そんな課題について、解決に向けた方法を一緒に考えることのできる行政、人が生まれ人生を終えるときまでをトータルで見守り・支援できる行政を目指したいと思っています。

そこで、「こんな支援があったらいいな」を皆さまから募集いたします。ぜひ、あなたにとって必要な支援策を教えてください。

ご意見は12月26日(金)までに地域支援課までお願いいたします。お電話でもお手紙でも、直接お越しいただいてもかまいません。

問い合わせ
地域支援課 ☎57-8503

人の人生フロロイチヤート 人生をトータルでサポートできる行政へ

市では、人の人生まるごと支援策として、昨年の地区懇談会から皆さまのご意見やご提案、または課題についてお話を伺い、少しでも解決できるよう市政に反映すべく取り組んでおります。今回はそんなご意見などが実現へと反映されたものや、これから実現に向けて計画されたものなどの一例をご紹介します。

計画中

来年度から乳幼児医療費の対象年齢が 中学校3年生まで拡大する予定です



子育て支援の充実を図るため、平成27年4月1日から乳幼児医療費助成制度の対象年齢が小学校6年生から中学校3年生までに拡大する予定です。

詳しいことは、12月定例会で議決された後に、広報などでお知らせ致します。

問い合わせ先
市民保険課乳幼児医療係
☎57-8506

計画中

来年度に向けて介護支援ボランティア 制度(仮称)企画案を策定します



- ◆対象のボランティア活動(案)
- ①レクリエーションなどの指導、参加支援
- ②お茶出しや食堂内の配膳下膳などの補助
- ③散歩、外出、館内移動補助
- ④話し相手
- ⑤行事のお手伝い
- ⑥施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動(洗濯物の整理、衣服の縫い物、草刈りなど)
- ◆受け入れ先(案)
- ①特別養護老人ホーム
- ②老人保健施設
- ③グループホーム
- ④お達者教室など

問い合わせ先
高齢者介護課 ☎57-8510

実現

今年5月に「生活サポートセンターこうなん」を設置しました



生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、各種の相談を受け支援を行うべく、いくものです。

対象者は、失業等の理由で生活に困っている方や生活保護を受給していない方です。

相談内容は、「就労」に関することや「住まいと生活」「借金」など法律に関することや「メンタル」に関することも相談に応じます。サポートセンターで解決できる内容についてはセンターで支援を行い、専門知識が必要な場合には、専門機関へ繋げる支援を行います。

決して一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

問い合わせ先
のいちふれあいセンター内 | 階
生活サポートセンターこうなん
☎50-6666

◆第1講座

心ががぜをひくとき ～“安心感”と自立～



臨床心理士
スクールカウンセラー
吉村 春生
(よしむら はるお)

マリンホール
9.20 土
10:00～12:10

子どもの心の育ちに大切なことは、乳幼児期の安心感。甘えることでその安心感が貯まると、ストレスに耐えられる力や生きるエネルギーとなる。

また、気持ちに共感してあげること、甘えのサインをキャッチして甘えさせてあげることで安心感が育まると、子育てに大切な安心感について語っていただきました。

時折織り交ぜられるユーモアたっぷりの佐賀弁に、会場には笑い声が響いていました。

◆第2講座

尾木ママ流 共感子育て



教育評論家 法政大学教職課程センター長・教授
尾木 直樹
(おぎ なおき)

マリンホール
9.23 火
12:30～13:40

受講者と「共感」するため、尾木ママ流サプライズで、客席から入場した尾木直樹さん。来場者の握手攻めなどで、会場は一気に活気づきました。

講演では、子育てに正解はないから難しい。つい感情的に叱ってしまい、後悔することもあるが、子育ては、あせらない・叱らない・抱え込まないこと。

子どもの心に共感するには「子どもをしっかり見て、子どもが何にどう反応するか、どう興味を示すかを注意深く見る」という、説得力のある語り、受講者も「共感」していました。

◆第3講座

おひとりさまの老後に 備える知恵と工夫



ノンフィクション・ライター
中澤 まゆみ
(なかざわ まゆみ)

サンホール
10.1 水
19:00～20:30

自身の体験と徹底的な取材と情報収集をもとに、「超高齢者社会・日本の未来」「人生100年時代の老後」「ひとり暮らしと自立の必要性」を解りやすく伝えてくれました。

現在のひとり暮らし高齢者は500万人、20年後は760万人と推計されているなか、人生最大の終活は「たっぶり生きて、安らかに旅立つこと」と語られました。そのために、人生を自分らしい生き方に必要な「老後の備え10箇条」や、人生100年時代のセーフティネットづくりについて語っていただきました。

◆第4講座

～ジェンダーフリー&ボーダーレス～ 性も国境も笑って 越えて“音曲漫才”



漫才師
姉様キングス
(あねさまきんぐず)

サンホール
10.8 水
19:00～20:30

『姉様キングス』は落語家の桂あやめさんと林家染雀さんとで結成された音曲漫才ユニットです。

2人の掛け合い漫談の後、桂さんが、女性でありながら漫才師入門に至ったエピソードなどを語り、林家さんは、舞台上で白塗り化粧を披露してくれました。

化粧ができあがったタイミングで、桂あやめさんもお揃いの衣装で再登場。音曲漫才で会場は盛り上がりました。

男女共同参画についても幾度も触れつつ、たいへん楽しいやりとりで終始笑いが絶えることなく時間が過ぎていきました。